

## タットン会 通信

2007. 11. 24

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。皆様からの掲示板コメントもお待ちしております。

また、ボランティアセンター 046 (825) 0017 で、確認することも出来ます。

(10月の参加費は、6,800円、寄付金、1,450円 計8,250円でした。)

## ～世界中の子どもたちが 一度に笑ったら～!!!

10月20日のタットン会は、湯野さんをチーフにメンバーの年齢の広がりと継続する力を感じながら、新たな発見も楽しみました。

新しい仲間も増えていることも嬉しいのですが、今回は27名のチャレンジャーさんに対しボランティアさんが足りずコートの割り振りやチャレンジャーカードを一人で複数枚記入しなければならなかったりと…、思うように行かないことも多かったです。また、心臓ペースメーカーを着けている仲間も増えました。携帯電話や磁石等の扱いに気をつけていきましょう。

2007年度当初、事務局の話し合いの中では、『新しい仲間の加入に対しボランティアさんの不足が考えられるので、一緒にプレイして下さる方をつれてきて頂こう』と確認したこともありました。→なかなか難しいことでございます。

そんな中、Zちゃんは昨年から通算9回目の参加。初めの頃は周囲が気になる様子で少し打つと母を求めて？どこかフラフラと行ってしまったり、ボールを目で追うことも拾いに行く事も難しかったのです。その時その時にボランティアさんが違い、時には手を添えて壁相手に一緒に打ったり、転がしボールをやったり、球出しから打つてみたりと数を重ねてきました。すると、場にも慣れフラフラも少なくなり、ラリーも数回続くようになってきた嬉しい場面も見られました。

休憩中（パワーヨガはしばらくお休みです…）は、ボランティアさん同士や体力のあるチャレンジャーさんとダブルスを組みバドミントンも卓球も真剣勝負の試合を楽しんでいました。

終了前（閉会式）、浅羽姉さんが『世界中の子どもたちが』の歌を、ゆっくりとした曲想に合わせ手話を交えて教えて下さいました。誰もが一度は聞いたことのあるこの歌、カメラを向けながらも胸にジーンと来るのを覚えたのは私だけではなかったことでしょう！（上図写真）

午後は、福祉会館で行われている「さぼほり広場」というボランティアを見学させて頂きました。（上図写真）このさぼほり活動は、遊びを中心にし、少しでも保護者の自由な時間を作ることも目的としている様子。また、会場の真向かいの部屋では、音楽療法のダンスも行われておりました。



世界中の子どもたちが 一度に笑ったら  
空も笑うだろう ラララ 海も笑うだろう～



休憩中のダブルス戦



さぼほり 福祉会館

## 感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャー27名参加

※1 一番ネットに近い緑のラインから打ち合い、ラリーを続けることが出来ました。ドライブもたくさん続けることが出来て、私にとってもすごく練習になりました。～春にやったときより、すごく上達していて驚きました！（S様）

- ※2 ～ボラさんが羽を手で投げて打つ練習をしました。この練習でかなり上達し、後半ではラリーが続くようになりました～。(A様)
- ※3 ネットなしで転がし卓球です。最初はバックで100回出来たので、フォアにしたら10回しか出来ませんでした。練習して100回ミスなくできました。～目標の回数を決めると根気強く続けます。ネットありにもチャレンジできたら！次回は是非ネットありで！（N様）
- ※4 ～お母さんの姿を追っていらしたので『あそこだよ』と安心してもらいながら練習を続けました。(H様)
- ※5 久しぶりのK君との卓球でした。ゲームよりもK君がすっかり大人の顔になって、身体もしっかりしてきて驚きました。歩行もしっかりし、安定感があり安心して見守れました。(H・M様)
- ※6 チャレンジャー同士の練習で、新しい仲間のチャレンジャーをやさしく教えていた優ちゃんの姿がとっても嬉しかったです。その保護者も、感謝していました。(優ちゃん大人になったね！)(K・S様)

## 余暇活動

～パート23～

僕が、このすばらしき『タットン会』に出会ったのは中学三年生で、適応指導教室に通っていた頃である。僕は生まれて初めてボランティアというものをやった。正直、初参加の時はどうしたらいいのかとても戸惑っていた僕がいた。どうやって接したらいいのかもわからず、すごく困っていた…けれどチャレンジャーさんが声をかけてくれてとても嬉しかった。そして一緒に運動を楽しくやれた。終わった後にチャレンジャーさんが『ありがとうございました』と僕に言ってくれた。ありがとうと言われたことは何回かあったけれど、それとはまったく別で特別なものだった。その当時、僕は闇のなかで『生きる』ということがどういうことなのかわからずにいた。けれど『ありがとう』この言葉を言われて、とても嬉しい気持ちになった。反面（こんな僕が他人の役にたったの？）という気持ちがあった。この言葉のおかげで、僕はやっと闇の中から光りが見えた気がした。だからこそ『次も参加したい』と、いう気持ちになった。周囲のお姉さんやお兄さん達も、たいへん優しく一緒にいれることがとても嬉しい。僕は今では、タットン会が生きる喜びなのである。チャレンジャーさん達もみんな優しく、そして運動を頑張ろうという、気持ちも伝わってくる。僕はこれからもずっとタットン会に参加し続けたい。～なぜなら、これが僕の生きる喜びなのだから。 事務局員 山本光太

### 第6.2回タットン会 本日 11月24日の流れ 於 県立保健福祉大学

- 8:30 ～ 準備
- 9:00 受付開始
- 9:30 本日の説明 ペアになって、カード確認  
自己紹介・ハイファイブ or 握手  
体操（ディズニー or ラジオ体操）、各種目へ
- 10:20 休憩（けん玉？で遊ぼう？）
- 10:40 後半競技～（試合形式に挑戦！？）
- 11:10頃 パラシュート！
- 11:20頃 片づけ・モップ、感想カード記入  
（手話コーナー）・けがの確認
- 11:40頃 解散

～ 仲間と、素敵な笑顔 ～



#### 本日の担当者

チーフ・セッティングチェッカー：平野 厚・浅羽純子…他  
 継続受付：林美佐子・西方美貴 ほか  
 新規受付：鈴木孝芳・佐藤一雄 新規説明：佐藤ほか  
 全てのサポート：県立大学学生・事務局メンバー

#### 《 今年度(2007)の予定 》

2007年度 ホームページで確認を!!!

次回 12/22、2008年 1/26・2/16も

県立保健福祉大学に決定となりました!!!

※ →3/30(日)にタットン大会 アリーナを予定